

補聴器購入費助成を新設、学校給食費無償化実施へ 市民の願いと共産党の論戦が市政を動かす

2024年度予算

武蔵野市議会第1回定例会が2月20日～3月26日の日程で行われました。昨年12月に行われた市長選挙で当選した小美濃安弘新市長のもとで最初の市議会、最初の予算案審議となりました。新年度予算のほとんどは松下市政時に準備されたもので、市民の切実な願いと運動、日本共産党市議団のこれまでの論戦で市政を動かして実ったものがあります。概要をお知らせします。また、小美濃市政の問題点を2面で紹介します。

加齢性難聴者への補聴器購入費助成スタート

補聴器購入費助成制度を実現する会などが署名運動に取り組み、党市議団が繰り返し要求してきた高齢者の補聴器購入費助成制度(購入費の半額・上限5万円)が始まります。医師が補聴器の必要性を認めた高齢者が対象です。所得制限がありますが、制度がつけられたことは大きな前進です。



市は、高齢者の「聴こえの支援事業」として、補聴器の普及・啓発、加齢性難聴や補聴器の正しい理解の普及・啓発のための講座や講演会のほか相談事業も行います。今後、さらに助成金額の拡大、所得制限の撤廃なども求めています。

小中学校の給食、質を守って無償化へ

——年度途中から実施し4月にさかのぼって対象に

全国で広がる学校給食費無償化。東京都も実施自治体には半額補助することを決めています。日本共産党市議団は、武蔵野市でも質をしっかりと維持したうえで無償化の実現を繰り返し求めてきました。小美濃市長は、できるだけ早く実施する、その際4月



までさかのぼって無償化する、また、アレルギーや不登校等の理由で給食をとっていない場合や市立学校以外に通う場合も支援していきたいという考えを明らかにしました。

物価高騰から市民のくらしを守る 市独自の施策を

武蔵野市はこの間、学校給食の質を落とさず保護者負担を増やさない対策として、学校給食費の独自補助を行い、保育・福祉施設への支援を行ってきました。2024年度の予算には学校給食費の独自補助は計上されていますが、保育・福祉施設については予算化されていません。



物価高騰で市民のくらしが引き続き大変ななか、代表質問で保育・福祉施設等への補助の継続、市民への新たな物価高騰対策を求めました。小美濃市長は、学校給食費の独自補助は予算に計上し支援を継続するが、他の支援は国の臨時交付金があれば検討するとの答弁にとどまりました。

武蔵野市内に東京都が児童相談所新設へ 一時保護所の設置を求める



児童虐待が増加する中、児童相談所の強化が求められています。現在、武蔵野市を管轄するのは杉並区内の児童相談所ですが、対応件数の増加により、増設を求める要望を議会に取り上げてきました。

一時保護所の新設も検討するようになっていましたが、地域センター内では「無理」と市長が答弁。子どもの命にかかわる問題です。児童相談所の設置に伴い、一時保護所の設置を強く東京都と武蔵野市に求めます。

今回、西久保にある多摩府中保健所武蔵野三鷹地域センター(以下、「地域センター」)の一部を改修し、児童相談所を2029年度から併設すると報告されました。児童相談所の増設について、当初虐待を受けた子どもをかくま

地域センター内に児童相談所を併設すれば、今まで要望してきた保健所の復活はどうなるのでしょうか。市は、感染症に対応できる機能の強化を求めました。引き続き保健所の復活を東京都などに求めていきます。

主な新規・拡充事業

- 全世帯対象に家具転倒防止金具購入費用補助 今まで高齢者、障がい者世帯に助成していた家具転倒防止金具などの購入費を全世帯を対象に補助。
- 民間井戸のPFAS水質調査 市内の井戸水の状況を把握するため、希望する民間井戸使用者に対して、PFAS(有機フッ素化合物)水質調査を実施。
- 看護小規模多機能型居宅介護事業所開設助成 訪問看護、訪問介護、デイサービス、ショートステイのサービスを一体的に提供する事業所(吉祥寺南町3丁目)の開設支援。
- 子どもの権利擁護機関の設置 「武蔵野市子どもの権利条例」に基づき、子どもの権利について、子どもが直接相談できる相談窓口を設置し、普及・啓発のとりくみ。
- 小中学校改築 第一中学校・第五中学校の工事、第五小学校・井之頭小学校の実設計画。
- 部活動指導員増員 中学校・各校2名→4名。小学校全校で4名を新規配置。
- 不登校対策と教育相談の体制強化 支援員(常駐型)配置8校→13校に。教育相談員12名→13名に。チーフスクールソーシャルワーカー新規配置
- 木造住宅耐震化助成の拡充

定例会を終えて



本間まさよ

日本共産党市議団を代表して、新市長の2024年度施政方針及び予算編成、さらに市長の選挙公約について質し、様々な問題が明らかになりました。市政の後退を許さず平和、暮らし、教育の充実に力を尽くしてまいります。



橋本しげき

一般質問に対し市長は、マイナ保険証の非保有者には申請によらず資格確認書を交付する、水道水中のPFAS(有機フッ素化合物)について、50ナノグラム以下の基準以下に極力少なくするよう努力したい、と答弁しました。



三島 杉子

一般質問で、子どもの権利擁護機関の4月配置、子どもが直接話せる相談室も秋頃開設予定が明らかになりました。東部地域に児童館を求めるところ、市は、居場所の必要性は認め、子どもの意見も聞き、既存施設活用、新設・建替え時含めて議論を進めると答えました。

公約の変質・破たん、自民党政治の悪政持ち込み

—小美濃市政の問題点が早くも明らかに—

公約 変質・破たん

「年金15万円」は、自分で働け、というのと
二中・六中だけでなく「全小中学校の統廃合」を検討
吉祥寺地区の病院ベッド増床は
「大変厳しい」と謝罪

小美濃市長となって初めての議会でしたが、昨年12月の市長選挙で掲げた「公約」が早くも馬脚を現しました。

▼小美濃氏の公約に、「年金+5万円」というのがありました。年金に加えて、武蔵野市が月5万円支給してくれると受け止めた市民もいました。しかし、これは高齢者が働いて毎月5万円稼ぐ、ということでした。市民に誤解を与える記述は非常に不誠実です。

▼小美濃氏は、「二中・六中の統廃合は白紙に」と公約を掲げました。しかし、市議会でも市長は、二中・六中の統廃合に「決して反対しているというわけではない」「武蔵野市の小中学校が今のままの

18校で本当にいいのか」と答弁し、改築工事が進んでいる小中学校以外の学校について、今後2年間で議論し、2026年度から行われる学校施設計画に反映させていきたいと統廃合の対象が二中・六中だけではないことがわかりました。

▼吉祥寺地区の医療体制の充実を望む声が大きいです。小美濃氏は「吉祥寺地区の病院ベッドを増床」と公約していました。しかし、予算審議の中で日本共産党市議団の質問で、ベッド数を増やすことは「大変厳しい状況になった」ので「申し訳ない」と謝罪しました。早速の公約破たんです。まったく無責任ではないでしょうか。



国の悪政 持ち込み

「原発ゼロを求めず」
「核兵器禁止条約は慎重に」
「保険証存続求めず」

小美濃市長は、議会答弁で、「今すぐ原発ゼロを訴えていく」ということは、私は考えておりません、核兵器禁止条約について「国家の安全保障にも関わることですので、私としては慎重にならざるを得ない」、「現行健康保険証の廃止に對して現時点で中止を求めるとについては、検討いたしております」と発言しました。

松下市長（当時）は、市民の利益のために、国や都に対して言うべきことは言うという政治姿勢でした。例えば、松下氏は、原発再稼働ストップ、

原発ゼロを実現すべき、日本は核兵器禁止条約の批准をとの立場を表明していました。自公政権が、マイナ保険証の推進のために健康保険証を廃止しようとしていることに對しても、保険証の存続を求めています。

小美濃市長は、自民党の悪政に從い、その悪政を武蔵野市に持ち込む立場だと言わざるをえません。



主な市長提出議案・意見書などへの各会派・議員の態度、採決結果一覧

議案	共産	自民	立憲・ネ	公明	維新	ワクはた	無所属	下田	賛成：反対	結果
印鑑条例改正及び手数料徴収条例改正（住民票自動交付機廃止）	×	○	○	○	○	○	○	○	22：3	可決
介護保険条例改正（介護保険料値上げ）	×	○	○	○	○	○	○	×	21：4	可決
女性差別撤廃条約選択議定書の批准を求める意見書	○	×	○5×1	○	○	○	○	×	16：9	可決
2024年度一般会計予算	○	○	○	○	×	○	○	○	22：2	可決
2024年度国保特別会計予算	×	○	○	○	○	○	×	×	18：6	可決
2024年度介護保険特別会計予算	×	○	○	○	○	○	○	×	20：4	可決
2024年度下水道事業会計	×	○	○	○	○	○	○1×1	×	19：5	可決
PFAS対策強化を求める意見書	○	×	○	×	○	×	○	○	14：10	可決
共同親権導入に慎重審議を求める意見書	○	×	○1×5	×	×	×	○	○	7：17	否決
地方自治法改定の見直しを求める意見書	○	×	○	×	×	×	○	○	12：13	否決
ガザ地区での即時停戦を求める決議	○	○	○	○	○	○	○	○	24：0	可決

【2024年度一般会計予算】以下の議案採決時に1名欠席がありました。「地方自治法…」の意見書は可否同数となり、議長裁決で否決となりました。